

2025 第 28 号 <No.257>令和 7 年度国際遠隔講義を実施（2025 年 12 月 23 日配信）

今年度は 9 月 2 日から 12 月 16 日までの毎週火曜日（9 月 23 日を除く）、全 15 回にわたり、国立台湾大学を中心にタイのコンケン大学、国立シンガポール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学及び本学をオンラインで繋いだ、国際遠隔講義を実施しました。各国の講師から最新の産業医学・産業保健分野について学べる貴重な機会である本講義は、本学から多くの教職員や大学院生が受講し、毎回活発な質疑応答が行われました。

本学からは、下記のとおり 4 名の教員が講義を提供した他、大学院生 3 名が学生発表に参加し、参加国の学生と共同でそれぞれの関心事項について発表を行いました。

<9 月 9 日>

“Work, Sleep, and Health”

中田 光紀 教授（公衆衛生学）



<10 月 7 日>

“Scientific Approach to the Relationship Between Work Styles and Low Back Pain: From Assessment to Workplace Improvement”

谷 直道 講師（人間工学）



<10 月 28 日>

“Safety Management in Radiation Work”

岡崎 龍史 教授（放射線衛生管理学）



<11月18日>

“Association between Mobile Phone Usage and Workers' Health Status: Findings from Epidemiological Studies”

盧 溪 教授（産業・地域看護学）



<12月9日>

“Noise Exposure and Human Health Experiment, Health Effects, and Risk Assessment”

大学院生 中尾 由美

(医学専攻：産業保健管理学)

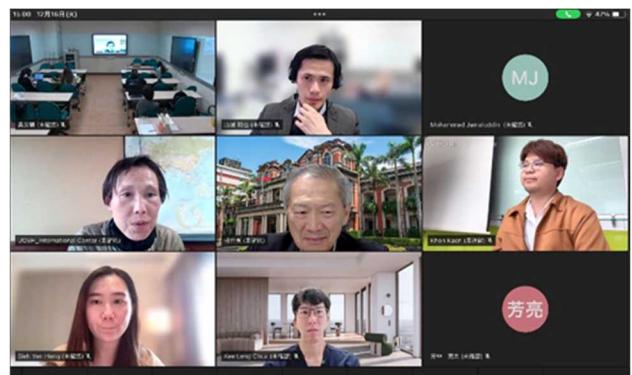


<12月16日>

“Shift Work and Mental Health Problems: Insomnia, Burnout, and Depression”

大学院生 山城 和也

(医学専攻：公衆衛生学)



<12月16日>

“The Influence of Psychosocial Safety Climate (PSC) on Occupational Health and Safety”

大学院生 Susan Fitriyana

(産業衛生学専攻：産業保健経営学)

